

府立高校

文理学科始動

教室に頭蓋骨!? 文理学科1年生の「探究基礎」の授業。机の上に並べられていたのはオランウータン、ゴリラ、チンパンジーとヒトの頭骨模型。そこにビーズ玉を入れ、脳容積を測定。類人猿から人類への進化を脳から考えるとともに、標尺計と呼ばれる計測器を使って自分の脳容積も量るという実験。「頭骨もビーズ玉も国立科学博物館からの借り物やから、ていねいに扱えよ」という担当教師の言葉に、「わっ、ビーズがこぼれた」という声が多かった。

② 豊中高校

■ ■ ■
 昨年度、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSSH、キーンワード参照)の指定を受けた豊中高校。今年度から文理学科を置く府の進学指導特色校(グローバル・リーダーズ・ハイスクール(GLH))10校に名を連ね、公立エリート校としての存在感を増している。

■ ■ ■
 受験生の注目度を示すのが、今春の入試志願倍率。同校は文理学科で10校中2番目の3.79倍。後期の全日制普通科は全府立高校中トップの1.78倍(昨年は1.33倍で5番目)となった。

■ ■ ■
 高橋克夫校長(59)は「地元の支持とGLHプラスSSHの効果、そして難関大学への進学実績への

②スーパーサイエンスハイスクール(SSSH)

文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度。平成14年から始まった。理科・数学に重点を置いたカリキュラムで大学や研究機関との連携、テーマに基づく研究と成果発表などを行い、難関大学への受験対策にも力を入れ

大学入学後も伸びる生徒を

探究授業 国際科学コンク視点



「探究基礎」の授業。「初めて脳容積を量ったのでおもしろかった」の声が多かった

評価。今年度から導入した制服への期待もあると思います」とほほえむ。

■ ■ ■
 同校の特徴は、文理学科の生徒がSSHの主対象となっている点。1年生で「光のスペクトル」や「ワトトリの胚発生観察」など専門的な実験も入った「探究基礎」を学ぶことができる。

■ ■ ■
 頭骨模型で脳容積を測定していた生徒らは「普段体験できない実験や講義をしてみらえるので毎回、楽しみ」「授業にのめり込んでしまう」と話す。

■ ■ ■
 「SSHは大学受験にマイナスと指摘する声も一部にあるが、理科学志望の生徒が、大学で自分が目指したい学部、学科を明確にできると高橋校長。

■ ■ ■
 探究を深め、2年後にはシンガポール政府が2年に1度主催する「国際高校生科学コンテスト」への出場を目指したいとも。

■ ■ ■
 また難関大学合格を目標に授業よりハイレベルな英教習を学ぶ7限目の選択授業「アドバンス」を設け、1年生(360人)では文理学科43人、普通科37人の計80人を募集。志望動機と選考テストを実施し、進学意識の高い生徒を同学科合同の授業でチームとして育てる。

■ ■ ■
 一方、GLHは全校生徒が対象。「10校共通テスト」や「勉強合宿」、現役が教員や卒業生の話を聞く「夜の質問会」、京大や阪大への「大学見学・研究室訪問」など、難関大学への受験指導に加

文理学科はSSHと同じ方向性に文科系を加えた

もので、大阪ではSSH指定校のうち豊中、天王寺、大手前、高津、生野、三國丘、岸和田などが今年から文理学科を置くグローバル・リーダーズ・ハイスクール(GLH)にも指定された。

■ ■ ■
 え、より幅広い学びの場を開く。

■ ■ ■
 「本校が目指すのは、塾や予備校に通わなくても、授業の予習・復習・宿題で難関大に合格する学習スタイルを各自が身につけること。その基本となるのがメリハリのある学校生活です」(高橋校長)

■ ■ ■
 生徒の約9割が参加するクラブ活動は午後6時で終了。6時半には完全下校を徹底している。新入生は高校生活に慣れた6月から正式にクラブに入部する。また学校行事は短期集中型とし、6月の体育大会はわずか1週間の準備でやっってしまう。

■ ■ ■
 「限られた時間で集中すること、豊校が掲げる『真の文武両道』が成る。文理学科と普通科が切磋琢磨することで、大学合格がゴールではなく、大学入っても伸びる生徒を育てたい」という高橋校長の言葉に力がこもった。

(服部繁子) (毎月1回掲載)